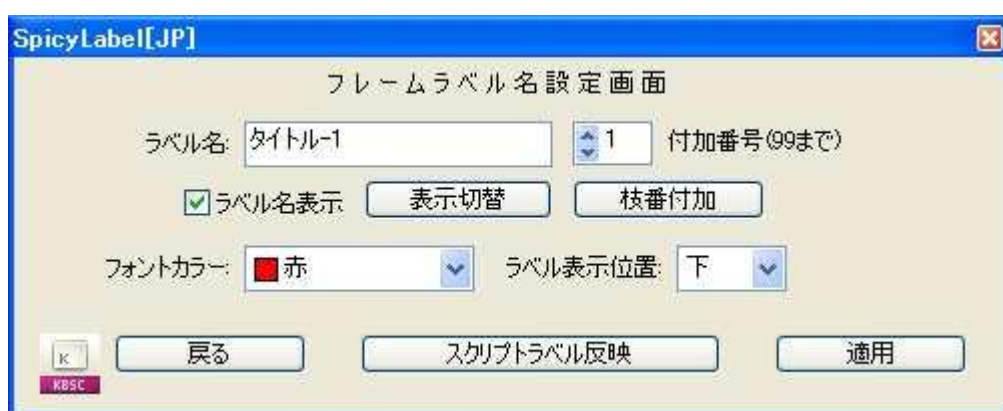


SpicyLabel 操作説明書



有限会社スパイシーソフト

1. はじめに

SpicyLabel(本製品)は、DTP ソフト Windows 版 Adobe InDesignCS 日本語版対応のプラグインソフトで、32ビットで稼働するInDesignを対象としています。

本製品は、ドキュメントページに配置されたテキストフレームなどのページオブジェクトに、可視的に名前を付加していくことを実現するものです。

InDesign では、多くの内部メソッドが公開され、JavaScript や VBScript などの多様なスクリプト言語で InDesign の機能を使用することができます。

ところが、スクリプトを組んでいく場合、InDesign ドキュメントのどのオブジェクトに対して処理をしていくのかということが大きな問題になります。

このとき、オブジェクトを識別するのに利用できそうなものは、XML 構造名とスクリプトラベルの2つの方法が提供されています。

XML 構造名は、オブジェクトに名前を付けた時、当該名を表示したり非表示にしたりすることができるので、一見簡単に使用できそうなのですが、XML 構造やオブジェクトの属性の値へのアクセスの方法など、使いにくい一面が見受けられます。

単純に、オブジェクトを識別し、スクリプトからアクセスするには、スクリプトラベルの方が使いやすく出来ています。ところが、このスクリプトラベルの最大の欠点は、オブジェクトに付けた名称が、オブジェクト自体に表示されないので、一々、スクリプトラベルパネルを開けておき、対象となるオブジェクトを選択しないとわからないということが言えます。

本製品は、この点を解消し、オブジェクト自体に装飾として付加した名称を表示できると同時に、スクリプトラベルとして同じ名称を登録するということを実現しています。

Adobe 社も推薦しておりますように、スクリプトでの InDesign の制御をおこなうということは、今後も増加していくものであり、このことを考えると、どうしても、このオブジェクトを特定するという作業が切り離せないものとなります。したがって、オブジェクトを識別する名称づけを可視的に行えるということは、スクリプト開発を行うに際して、作業効率の大幅な改善をもたらすものではないかと考えております。

本製品は、弊社の販売する定型レイアウト自動組版プログラム

「SpicyLibraCS Ver4.0」に搭載されている機能を単独線品としたものです。

2. 動作に必要なソフト

InDesignCS4_J (Ver6.0)。

3. インストールとアンインストール

① インストール

SpicyLabel.zip を解凍し、その中にあります、「Spicy フォルダー」ごと、InDesign.exe がインストールされているフォルダーにある「Plug-Ins フォルダー」にコピーまたは移動してください。

「Spicy フォルダー」には、次の2つのプラグインソフトが入っています。

- SpicyLabel.pln → ダイアログ表示
- FrameLabel.pln → InDesign オブジェクトインターフェースの処理を行っています。

② アンインストール

レジストリーなどへの登録は行っておりませんので、「Spicy フォルダー」ごと削除してください。

4. 機能

本製品では、次の7種類の機能を実装しています。

- ① オブジェクトに名前（ラベル名）を付ける。
- ② オブジェクトのスク립トラベルにラベル名を設定する。
- ③ スクリプトラベル設定内容をラベル名として設定する。
- ④ ラベル名に1～99までの枝番を付加する。
- ⑤ ラベル名の表示位置、表示カラーを設定する。
- ⑥ ラベル名の表示/非表示を切り替える。
- ⑦ ラベル名の印刷許可/不許可を切り替える。

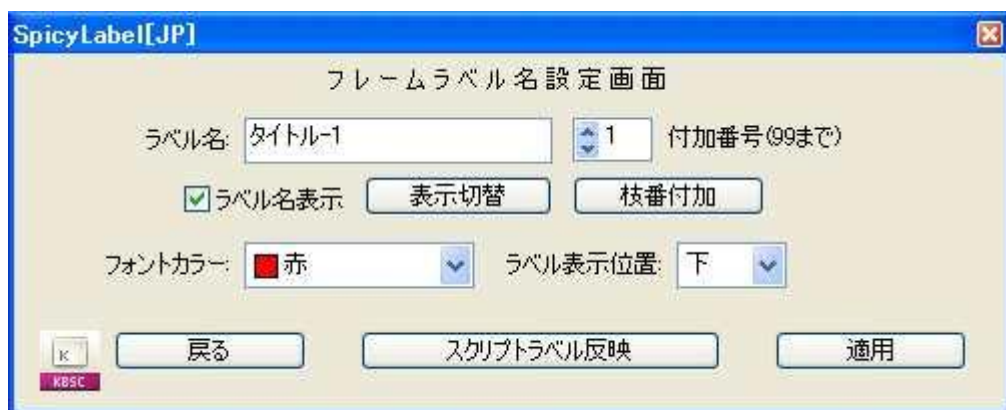
ラベル名は、テンプレートファイル (.indt)、ドキュメントファイル (.indd) のどちらの種類のドキュメントにも、また、ドキュメントページ上及びマスターページ上のいずれのページオブジェクトに対しても設定することが可能です。

5. 使用方法

何らかのドキュメントが開かれている状態で、InDesign のメニューより、「プラグイン」→「スパイシーソフト」→「SpicyLabel」→「フレームラベル名設定」を選択してください。

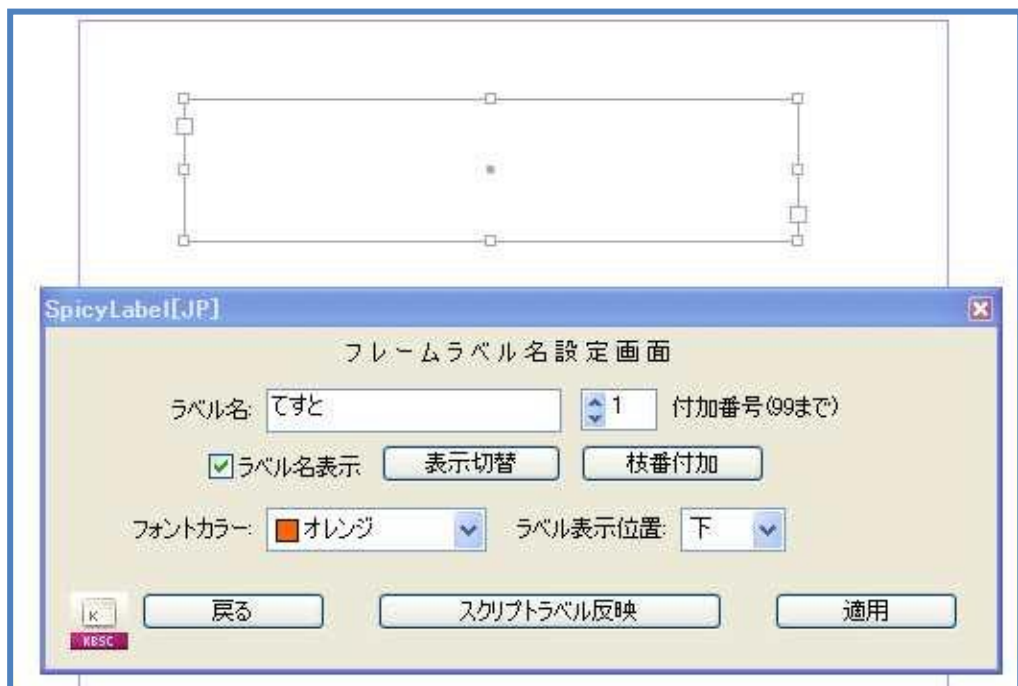
何らかのドキュメントが開かれていまい場合。選択部分がグレーとなり選択できないようになっています。

メニューを選択すると、ラベル名を設定するダイアログが表示され、戻るボタンをクリックするまで、表示されたままとなります。



ラベル名設定にかかわるすべてのことは、このダイアログ上で行います。基本的なラベル名の設定方法は次のような手順となります。

- ① ラベル名を設定するオブジェクトをオブジェクト選択ツールで選択し。
- ② ラベル名をラベル名テキストボックスに記入します。



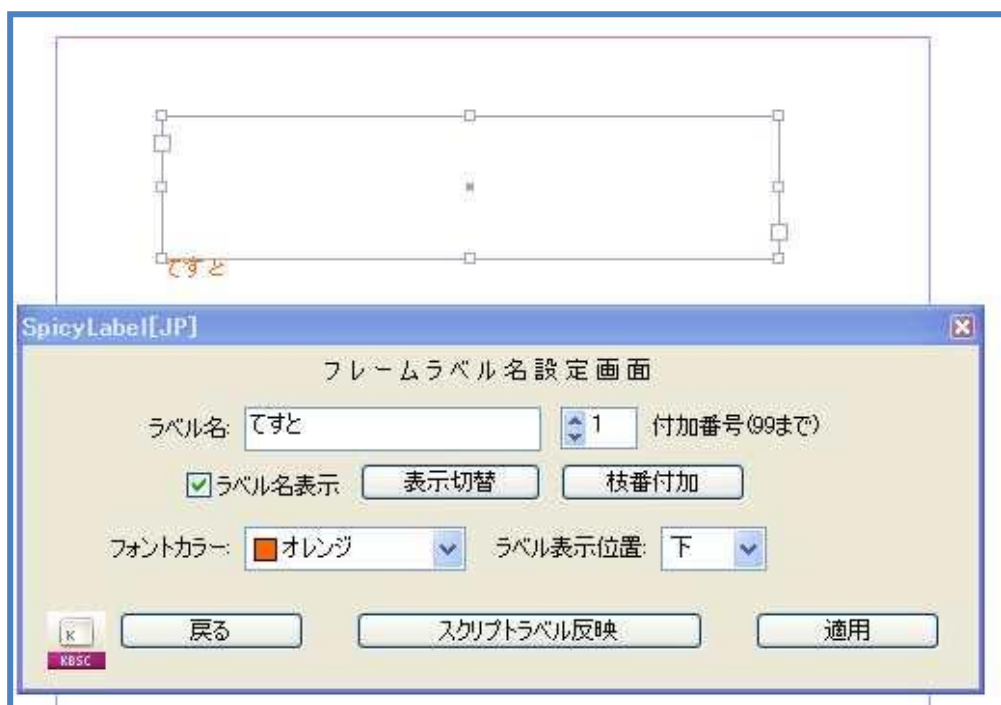
続けて、適用ボタンをクリックすると、テキストボックスに記入したラベル名が、InDesignにて選択されているオブジェクトの外側に表示されます。

このとき、枝番号（半角「-」と数字）は記入しません。

また、適用ボタンをクリックする前に、

- ラベル名表示チェックボックスにチェックが入っていること。
- フォントカラーが選択されていること。
- ラベル表示位置が正しい位置に設定されていること。

を確認しておきます。



上図で分かるように、「ですと」というラベル名が、選択状態になっているフレームの下部（ラベル表示位置が「下」になっている）に、オレンジ色（フォントカラーがオレンジになっている）で表示されているのが確認できます。

基本的には、この操作の繰り返しとなります。

③ 枝番号の付加

通常、InDesign で自動処理を考えた場合、1 ページには複数のレコードのデータを配置したい場合が多いものと思われます。

その場合、データレコードの特定の項目は、フレームの位置は変わっても、同じような属性のフレームに流しこみたい場合が多いものです。そのような時に、フレーム名の違いを共通名に番号を加えて個別名にするということが必要になってきます。

SpicyLabel では、枝番号を 1～99 まで、数値アップダウンコントロールで設定し、「枝番付加」ボタンをクリックすることで、枝番号を付けていないラベル名の後ろに、半角のマイナス「-」と半角の数字を付けることができるようになっています。



数値アップダウンコントロールを「5」に設定し、「枝番付加」ボタンをクリックした直後のページオブジェクトを見ると、「てすと-5」と表示されているのが分かります。

同時に、ラベル名テキストボックスも「てすと-5」と自動的に変更になります。これは、ページオブジェクトにラベル名が設定されたのを感じて、ラベル名テキストボックスに、その文字列を挿入しているからです。なお、枝番号を付加する対象のオブジェクトを複数選択し、同一の枝番号を振ることができます。

ここまでで、個別ラベル名を設定するという、実際のラベル名設定の処理は終わりとなります。

次の項目からは、付属的要素の機能説明を行います。

④ 「ラベル名表示」チェックボックス

このチェックボックスは、ラベル名を画面上に表示するかどうかを切り替えます。

これは、ラベル名が1ページ上に沢山あったり、オブジェクト同士が近い場合に、見にくくなったりする場合にチェックボックスのチェックを外し、「表示切替」ボタンをクリックすることで、非表示にすることができます。

逆に、非表示になっている場合には、チェックをして、「表示切替」ボタンをクリックすれば、表示状態に切り換えることができます。

⑤ ラベル名属性変更

ラベル名には、基本的な「文字列」以外に、その文字列の表示色と表示位置という属性を設定することができるようになっています。

新規にラベル名を作成する場合には、当然のことながら、あらかじめ設定しておかなければなりません。ラベル名を設定後、この表示属性を変更したという場合には、新たに設定値を選択しなおして、「表示切替」ボタンをクリックすることで、表示属性を変更することができます。



上図は、表示色を若草色に、表示位置をオブジェクトの上にしたものです。

⑥ 「スクリプトラベル反映」ボタン

何らかの理由で、ラベル名が削除され、スクリプトラベル名だけが対象となるドキュメントに残っている場合があります。

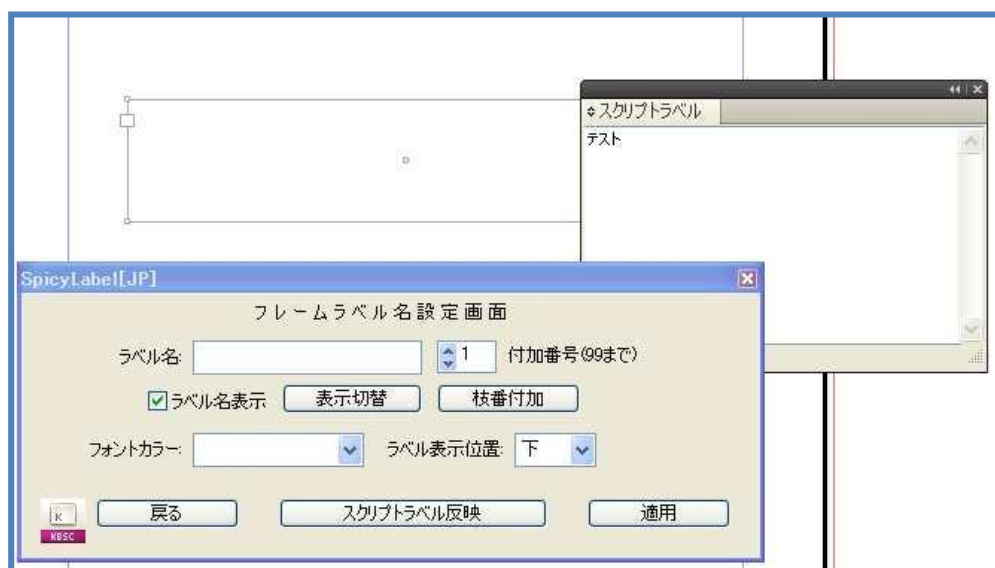
たとえば、SpicyLabel でラベル名を付けたドキュメントを、SpicyLabel のない InDesign でオープンし、保存したような場合や、IDML ファイルに落としたものを読み込んだ場合などに起こります。

また、SpicyLabel を使用する前に、すでにスクリプトラベルを設定したドキュメントであるような場合があります。

このような時に、ラベル名を再設定するのは、テキストボックスにスクリプトラベルを記入しないといけないので、間違いなどが起こる可能性があります。つまり、ラベル名とスクリプトラベルとが一致しないということが起きてしまう可能性があります。

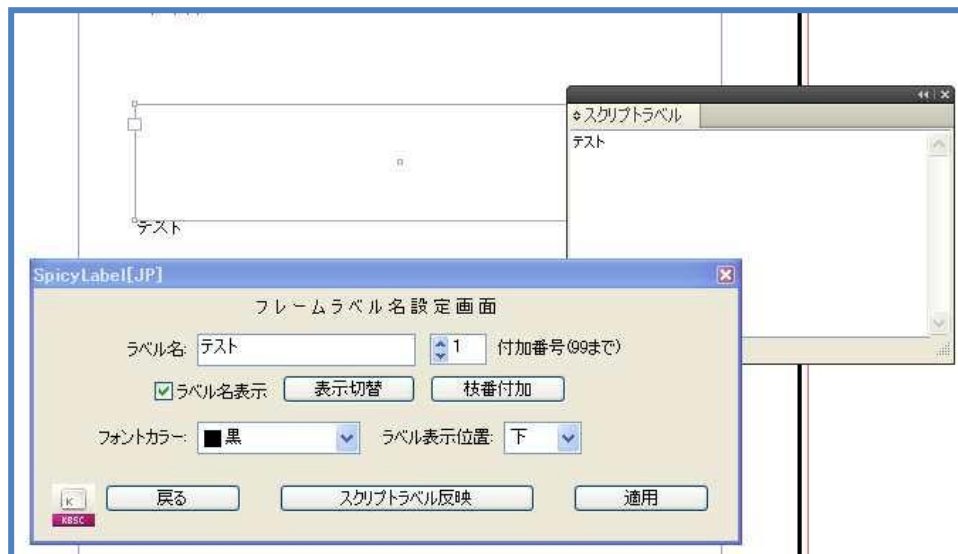
そこで、本製品では、スクリプトラベルを読み取り、レベル名として設定する機能を設けました。

該当するオブジェクトを選択し、「スクリプトラベル反映」ボタンをクリックすることで、安全に、ラベル名を設定することができます。



このページオブジェクトには、スクリプトラベルが設定されていますが、ラベル名が設定されていません。

そこで、「スクリプトラベル反映」のボタンをクリックすると、次ページのように、ラベル名が自動的に設定されますので、ラベル名設定後は、通常の状態で使用できるようになります。



6. ラベル名の印刷許可

ラベル名は、通常は、ドキュメントとは無関係なので、ドキュメントを印刷する場合、印刷しないことが多いものと思われます。

しかし、InDesign をスクリプトで制御する場合、スクリプトを組んで行く途中で、実際のラベル名を見ながら組んでいく方が効率的な場合があります。

そのような時に、ラベル名を印刷できると便利といえます。

本製品では、InDesign のメニューから、ラベル名の印刷許可/不許可を切り替えて設定できるようになっています。



InDesign のメニューより、「プラグイン」→「スパイシーソフト」→「SpicyLabel」→「フレームラベル名の印刷許可」を選択し、ラベル名を印刷対象とするか否かを設定します。このサブメニューにチェックがあれば、ドキュメントを印刷時に、ラベル名も印刷します。チェックがない場合には、印刷されません。このサブメニューのチェックはトグルで変更されます。

7. 評価モードでの制限

ご購入いただき、ライセンスキーを登録していただくまでは、評価モードとして稼働します。

評価モードでは、

- ① 枝番の付加。
- ② スクリプトラベルの反映。

の2つの機能はオフ（使用できない）になっております。

8. ライセンスキーのご購入とライセンスキーの登録

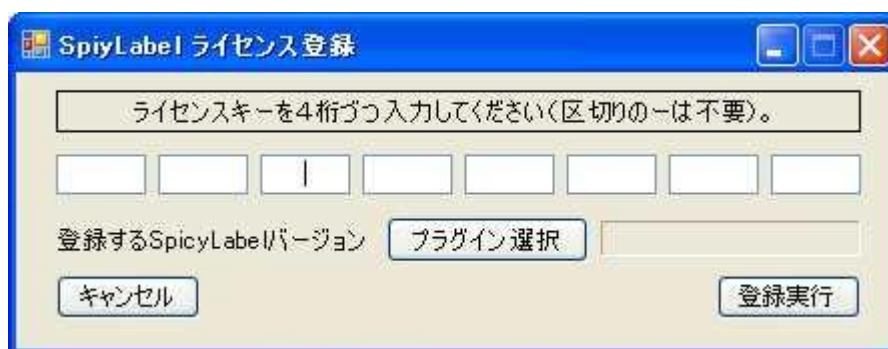
本製品を評価をしていただきましたのち、ご購入される場合、ベクターで購入される場合には、ベクターのプロレジサービスでの購入手続きに従いご購入ください。

弊社より直接ご購入の場合には、添付の購入申込書に必要事項を記入のうえ、ご購入代金を指定の銀行口座にお振込後、購入申込書をFAXまたはメールにて送りください。

弊社よりご購入の場合には、入金確認後に、ベクターでのご購入の場合には、ベクターでの購入手順に従い、ライセンスキーファイルが送付されますので、ライセンスキーファイルに記述してあります。32桁のライセンスキー番号をプログラムに同梱されている登録プログラム（SetKeyForSpacyLabel.exe）にて登録してください。

●登録プログラムの使用方法

「SetKeyForSpacyLabel.exe」を起動します。



- ① ベクターあるいは弊社より送付されたライセンスキーファイルに書かれているライセンスキー番号を4桁ずつ画面のテキストボックスに入力します。

たとえば、キーファイルに「1478-CBG6-KOLP-09gy-w4Fr-piKH-DDfG-3JkZ」とライセンスキー番号が記述されていれば、



のようになります。区切りのハイフンは入力しません。ただし、大文字・小文字は区別しますので、注意してください。

- ② 登録する SpicyLabel プラグインのバージョンを設定します。
 インストールした SpicyLabel.pln を選択し、バージョンを確定します。
 ご購入されたプログラムのバージョン毎に、ライセンスキーが異なりますので、間違いないように、プラグインを選択してください。
 「プラグイン選択」ボタンをクリックし、選択します。



ご購入されたプラグインのバージョンが正しいことを確認してください。

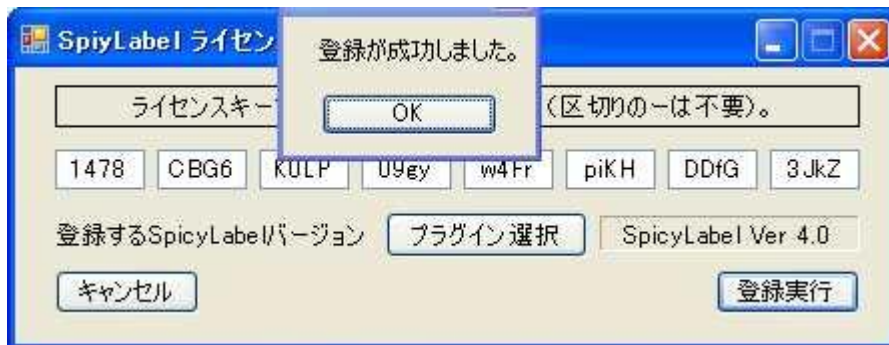
InDesignCS4_J 対応は、SpicyLabel Ver4.0

InDesignCS3_J 対応は、SpicyLabel Ver3.0

InDesignCS2_J 対応は、SpicyLabel Ver2.0

となっています。

- ③ 登録の実行
 ライセンスキー入力が正しく、プラグインバージョンが正しいことを確認したのち、「登録実行」ボタンをクリックしてください。
 正常に登録された場合、次ページのように、メッセージが表示されますので、「キャンセル」ボタンをクリックして、プログラムを終了してください。



なお、ライセンスキーの登録は、InDesign プログラムが稼働していないことを確認したうえで、実行してください。

ライセンスキー登録が有効となるのは、ライセンスキー登録後に、InDesign を起動してからとなります。

9. その他

- ① 「表示切替」ボタンをクリックした場合、一度では、設定した数値が正しくドキュメントに反映されない場合があります。そのような時には、申し訳ございませんが、設定が反映されるまで、再度クリックしてご使用ください。
- ② 本製品は、弊社販売の SpicyLibraCS に付随する SpicyLibra.pln, FrameLabel.pln と同一のため、同時にプラグインとして使うことはできませんので、どちらかをご利用ください。

使用許諾

本製品をダウンロードし、ご使用になられるお客様は、以下の事項に同意されたものとみなします。

- ① 本プログラムおよびプログラムに付帯するドキュメントなどの著作権は、有限会社スパイシーソフトに帰属します。いかなる理由があれ、ご使用されるお客様に譲渡されるものではありません。
- ② 本プログラムをご購入されたお客様には、1ライセンスにつき、1コンピュータにて使用できる使用権が設定されます。
- ③ 本製品を、弊社に無断にて、第三者に開示あるいは譲渡することはできません。
- ④ 本プログラムを使用した結果に関して、弊社はいかなる責任を負うものではありません。
- ⑤ 評価が終了し、ご購入の意思がない場合には、本プログラムに関する一切を廃棄してください。

以上

2009 年 2 月 24 日

有限会社スパイシーソフト

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-20-9

グリュック南大井 602

HP: <http://www.spicy-inc.jp>

Email: info@spicy-inc.jp

Tel: 03-5471-4161

Fax: 03-5471-4161